

Q&A

安心・安全なまちづくりと教育費について



三木 浩一 議員

KOICHI MIKI



安心安全なまちづくりについて

問 将来の消防団員の確保や自治会消火栓・ホースの点検と更新はどのような現状なのか。

答 消防団員の確保に向けて、自治会等への呼びかけと共に、報酬等の引き上げや運転免許取得の補助などを行っている。消火栓等は訓練時や消防署が定期的に点検している。

問 街路樹・カーブミラー・通路の安全点検・里道の補修等はどのようになっているのか。

答 街路樹は定期的な剪定に併せて状態を確認している。カーブミラー等の安全点検については、道路パトロールや市民からの通報のより点検し、補修や更新を行っているが、今後パトロールを強化していく。里道の補修については、「自立のまちづくり事業」「生活道路等整備事業」により費用を補助している。

教育環境について

問 学校の事務用品や消耗品・教材費等で教職員や保護者負担の現状はどうなっているのか。学校の格差がないように調査し負担を減らすべきではないか。

答 教材作成費等は学校配当予算で対応するよう指導している。全ての児童・生徒の保護者負担を無償とすることは困難である。

問 高校生の通学定期の補助についてはどうか。

答 通学手段に違いがあり、通学定期補助については、公平性と財源から現時点では考えていない。

問 自学自習スペースの確保についてはどうか。

答 学習スペースの確保については、各図書館と中央公民館・新宮公民館で開設し、夏休みには霞城館と揖保川文化センターも開設している。また、新宮総合支所も利用されている。その他の公共施設ではセキュリティ等の問題もあり現状では難しいが、今後も学びのスペースの充実を図っていく。

Q&A

新宮高校跡地のコンパクトシティ計画について



楠 明廣 議員

AKIHIRO KUSUNOKI



新宮高校跡地のコンパクトシティ計画について

問 3、4年前から言っている新宮高校跡地に1階に散髪屋、飲食店、100均などが入った家賃2万円程度の市営住宅を整備することは、年金受給者も安心して生活でき、隣地にスーパー、ATM、ドラッグストア、駅等がありコンパクトシティ計画にふさわしい立地であると思うが、この計画以外で課題を解決できる計画はあるのか。

答 ひょうごインフラ整備プログラムにおいて、県営住宅の整備が位置づけされています。市としても、利便性の高い土地であるため、コンパクトシティにあった土地利用を図れるよう、今後も県に強く要望を続けていく。

5月の運動会における熱中症対策（寒冷紗）について

問 寒冷紗など新たな熱中症対策を教育委員会に提案していたが、5月の運動会で、どのような対策を行ったのか。

答 議員ご提案の寒冷紗は、モデルケースとして越部小学校において使用し、児童から涼しく過ごせたと好評であった。9月以降に実施する学校についても、寒冷紗をはじめ、熱中症対策を十分に講じたうえで、運動会・体育大会を実施していく。

意見 今後のまちづくりについて

10年先、100年先を考えて、未来の子ども達にツケを残さず、「たつの市に住んでよかった」と思えるように、知恵を出し合い、話題性・利便性のあるまちづくりを行っていただきたい。

その他の質問事項

- 大規模災害発生時の防犯・防災の問題について
- 高齢者がターゲットになりやすい消費者トラブルについて
- 揖龍南北幹線の現状及び龍野IC南の道路拡幅計画について
- 北学校給食センターの労働問題・CO₂削減問題について
- 本市への観光客の移動手段
- 本市が抱える問題について
- 中学校の生徒が入りたい部活動が無い場合等の対応について
- 龍野北高校周辺に陸上競技場の建設を検討されることの引継ぎについて